

見やすく使いやすいホームページの制作

学生氏名 山根 大

指導教員 皆川 勝

はじめに

現在、日本において IT 革命による波は完全といってよいほど浸透した。例えば、携帯電話やパソコンによるメールのやりとり、シーン別に分けられた情報の取得、商品の売買などが挙げられる。このように広い範囲の膨大な情報を携帯電話やパソコンといった端末から閲覧することができる。しかし、情報などを公開しているページは見やすいものばかりではなく、中には、見にくかったり使いにくかったりするものも多々ある。そこで本研究では、実際に見やすく使いやすいと言われているホームページを分析し、それとの比較から建設情報研究室のホームページの問題点を整理し、見やすく使いやすい研究室のページを制作した。

I-Mode 対応ホームページの制作

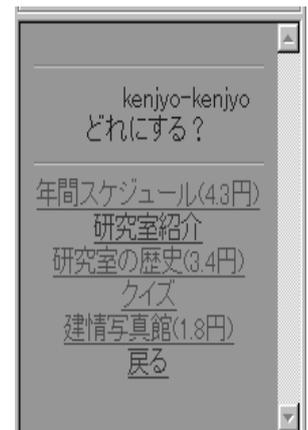
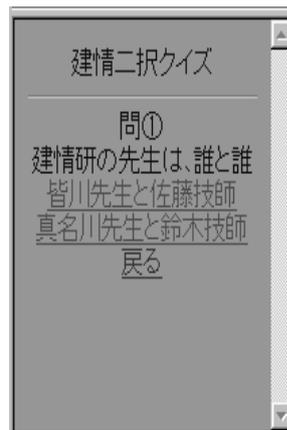
・ I-mode 対応ホームページを制作する意義

近年、インターネット対応型携帯電話の普及により、ホームページは、パソコンのみならず携帯電話でも閲覧可能となった。ここでは、使いやすい便利なページとすることを念頭に制作したページの一部を下図に示す。

I-mode 対応のホームページを使いやすくするための条件とその対処

条件

1. 一画面における情報量やリンクを減らして、画面をシンプルにする。
2. パケット通信料を安くする。
3. ホームページに入ったはよいがいくら金額がかかるかという不安を解消する。
4. 気持ちにゆとりのあるページとする。



対処

1. 画面で表示した状態を常にチェックしながらバランスよい画面構成とする。
2. 無駄な文字、無駄な文章を極力減らし必要最低限、必要なものを掲載する。
3. 表示画面に対していくら料金がかかるかを表示する。
4. クイズなどを利用してゆとりを作る。

建設情報研究室のホームページと他のホームページとの比較

企業の紹介サイトとして COCA COLA 社を選びそれと研究室のホームページを比較した。ただし、企業紹介のページは娯楽性も含まれているので、魅力あるページではあるが研究室のページとしては最適とはいえない。そこで、他大学の研究室(久保田研究室「工学院大学」、野口研究室「明治大学」と研究所(構造計画研究所、都市基盤整備公団総合研究所)とも比較することとした。

これらのホームページと比較検討した結果、以下のようなことをホームページ制作の基本方針とした。

トップページを設ける

トップページを設けることによりページ全体の顔として強いインパクトを与える。それと同時に、全体を豊かでしまった感じにすることができる。

フレーム分割

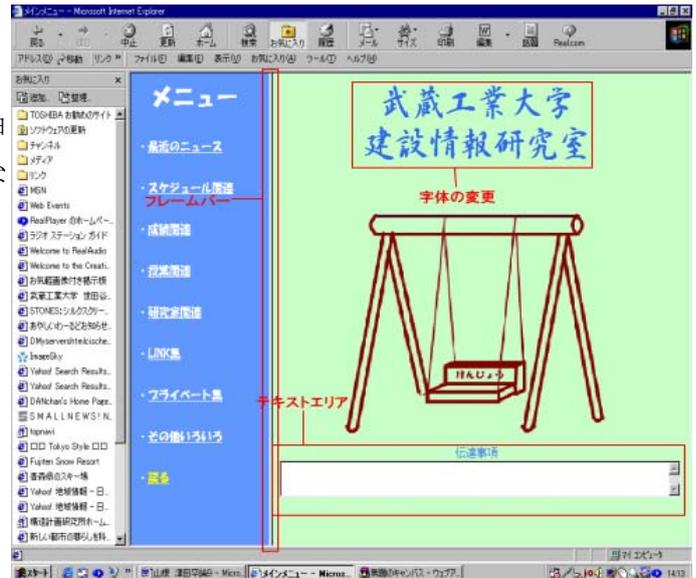
画面をフレーム割することによってメニュー欄を設けることができ、コンテンツへのリンクをまとめることによって使いやすくする。その結果、右端は自由に使えるスペースとしてイメージやテキストエリアなどを貼り付けたり、製作者の思うようなページを作ることが可能となる。

別ウィンドウにリンク

コンテンツの最下層(実際に情報が載っている場所)は、別のウィンドウで表示できるようにした。これは、フレームで分割してあるページは大きな情報になればなるほど見にくいところからである。

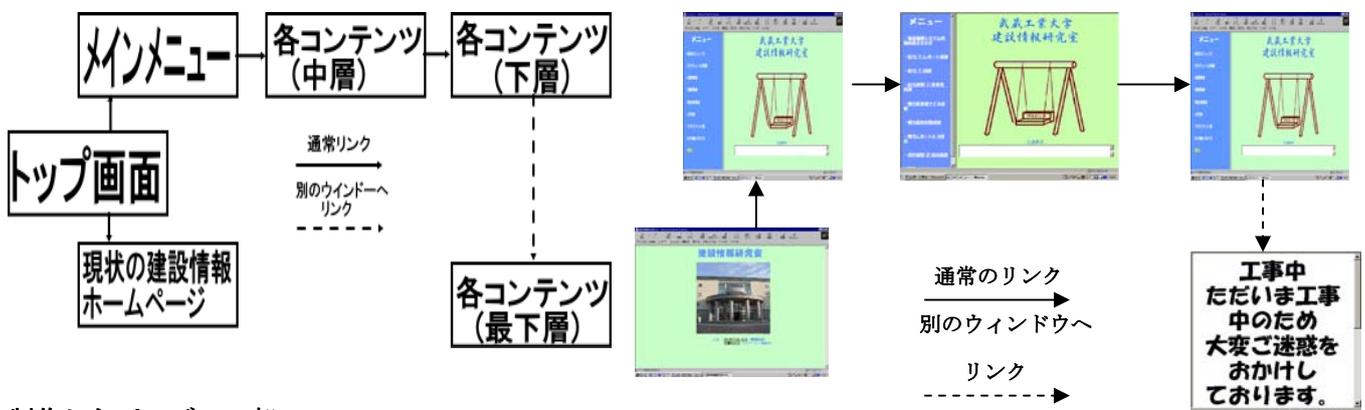
ページを階層分けした

初めてこのページに入る人にとっては、現状の建設情報研究室のホームページは一画面に表示されているコンテンツの全てを把握することは非常に難しいと思われる。そこで、ページを階層分けすることによって初心者層の人達でも見やすくなる。



制作したページの構成

下図は、制作したホームページの構成を示したものである。特徴として、トップページより現状のページと、新たに制作したページへリンクしてある。これは、ユーザー本人に使いやすい方へ進んでもらうように設定されている。

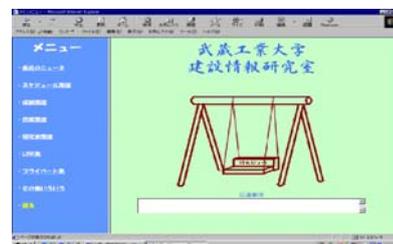


制作したページの一部

トップページ



メインメニュー



参考文献

- 1) 森谷健一：i-mode 専用ホームページ, 西東社
- 2) 河西朝雄：I-mode 対応 HTML と CGI, ナツメ社
- 3) 岡蔵龍一：HTML&スタイルシート辞典, 株式会社秀和システム